

令和6年度WEB型ライフプランセミナー実施要項

1 目的

教職員が「心豊かで明るく充実した人生」を実現するためには、在職中から退職後を見通した生涯生活設計(ライフプラン)の確立を目指し、知識の習得を図っていくことが重要である。このため、今後の長期計画を立てる一助となるよう支援するもの。

2 主催

宮城県教育委員会・宮城県内各市町村教育委員会・公立学校共済組合宮城支部

3 対象者

公立学校共済組合員(任意継続組合員を除く)

4 実施内容

以下のとおり、3つのコースの講義をオンデマンド形式で実施する。

(1) 退職準備コース(主な対象年齢層: 50歳代半ば~退職前)

視聴時間	テーマ	内容
約60分	経済生活	「退職後の経済生活プラン」 退職後の経済生活設計の必要性や家計収支をチェックする「経済生活設計表」の作成方法、貯蓄や退職金等について
約60分	公的年金 ・医療保険	「公的年金・退職後の医療保険」 退職後の定期収入源である公的年金の概要と、退職後の公的医療保険について
約60分	生きがい ・健康	「退職後の生きがいプラン・健康プラン」 定年引上げや再任用等、将来のキャリアデザインを描き、年金受給前の人生と年金受給後の人生の健康と生きがいについて

(2) 生活設計コース(主な対象年齢層: 40歳代~50歳代半ば)

視聴時間	テーマ	内容
約60分	経済生活	「経済生活プラン」 これからの生活を充実させるための経済生活設計の必要性や家計収支をチェックする「経済生活設計表」の作成方法、貯蓄や公的年金などの基礎知識について
約60分	生きがい ・健康	「生きがいプラン・健康プラン」 定年引上げや再任用等、将来のキャリアデザインを描き、年金受給前の人生と年金受給後の人生の健康と生きがいについて

(3) 経済生活設計コース（主な対象年齢層：20歳代～30歳代）

視聴時間	テーマ	内容
約60分	経済生活 (前半)	「ライフイベントごとの必要費用と資産形成・保険」 経済生活設計の必要性について考え、これからのライフイベントごとに必要となる費用、その必要費用を賄うための資産形成、保険の基礎知識について
約60分	経済生活 (後半)	「(住宅)ローン・経済生活設計表の作成・福利厚生制度」 住宅ローンの基礎知識、その他ローンとの上手な付き合い方、経済設計表を用いた収支や貯蓄額のシミュレーション方法、共済組合の福利厚生制度などについて

5 公開期間

令和6年7月29日（月）から令和6年8月26日（月）まで

6 申込方法

受講希望者がインターネットより専用フォームにて受講を希望するコースの申込みを行う。

7 服務上の取扱い

- (1) 県立学校教職員及び教育庁等職員については、職務に専念する義務の特例する条例(昭和26年宮城県条例第8号)第2条第2号の規定に基づき、職務に専念する義務を免除する。免除手続は、平成13年3月27日付け教第506号(教育通知)に基づき、実施通知による包括承認とする。
- (2) 市町村立学校等の教職員については、当該市町村の定めるところによる。
- (3) 他の団体の職員については、当該団体の定めるところによる。